

한청통신

韓 青 通 信



在日韓国青年同盟 機関紙

2013 年 冬号



世界に響け平和の歌 私たちをつなぐ統一の舞

統一運動を実践し、先鋒隊として運動を継承する。未来に向かって躍動する青年たち

07



維新独裁復活の朴槿恵政権糾弾！
〔韓青視点〕「朴槿恵政権糾弾三ヶ月集中運動」へ

02

〔全国活動紹介〕

各本部の活動と取り組みを紹介

04

響く平和の歌、つなぐ統一の舞！

〔特集〕紫の旋風を巻き起こした『평화의 노래 통일의 춤』

06

新連載 〔蘇る維新独裁〕維新復活の危機に歴史を学びなおす
Vol. 1 維新前夜

08

〔寄稿〕私の本棚 〔歌い継ぐ闘争の歴史〕『경의선 타고』
読書と内側の自分

全国活動紹介



アンニョンハセヨ、韓青大阪です。大阪で開催された韓統連 40 周年記念祝賀会も大成功に終わり、韓青大阪も勢いに乗って活発に活動しています！

40周年直後の11月6日には、秋期ウリマル開講式を開催しました。新規の仲間たちも迎え、心機一転、ウリマル学習への意欲を高めていきました。終了後にはみんなでチヂミを焼き、民族料理を楽しみながら楽しく交流していきました。

なんといっても、秋は食欲の秋！開講式後にも有志で「たこやきパーティー」を開催し、11月23日には、心斎橋にあるチムタク（鳥を煮込んだ韓国料理）の店を開拓しました。日本ではまだ馴染みのない料理ですが、辛さもほどほどでボリュームたっぷり。民族料理を食べながら、楽しく交流できました。

韓青大阪では、毎週のウリマル学習会に加え、月一回定期的にこのような楽しい交流会を開催しています。在日同胞の仲間がほしい！楽しい時間をすごしたい！という方、ぜひぜひご参加ください。

大阪

京都

アンニョンハシムニカ？韓青京都です。京都盆地であるが故、数字上の気温以上に寒い日々が続いております…。

そんな中、去る10月30日に秋期ウリマル開講式を行いました！当日はいつものメンバーに加えてイケメン青年も久々に参加してくれました！開講式そのものは売り出し中の韓青京都発の“ゆるキャラ”君による初司会で、初々しくも大きな盛り上がりを見せ、その勢いで開講式後には近くの居酒屋で交流会！韓青京都名物になりつつあるロシアンルーレット料理（からし入りたこ焼き！）で、“ゆるキャラ”君がお約束の大当たりをするなど、こちらも成功裏？に終えることができました。次にみなさんにお会いするのは冬期講習会になりますが、その時には是非ロシアンルーレットを通じて遅くなった京都メンバーをプタカゲッスムニダ！以上、京都本部からの報告でした。



上、京都本部からの報告でした。

※“ゆるキャラ”君の名前を大募集！応募がない場合、自動的に「HK」（東九条）48に決定します。



韓国語教室

「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付！

担当：金梨恵 (私・人)
080-6510-1973

韓国語教材専門店 **ハングルの森**



korean textbook shop

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

兵庫

下半期の活動が始まり、2ヶ月余りが過ぎました。上半期は、韓国現代史を学習しましたが、これからの半年は在日同胞史などを通じて“自分たちが知りたいこと”を中心にフリーテーマで学習しよう！ということで、毎週金曜日に学習会を開催しています。

この間学習をしたのは『DMZ～板門店の実際～』『祭祀（チェサ）って一体何なのよ？』『4.24 阪神教育闘争』『兵庫における在日同胞史』『在日特権って本当にあるの！？』などテーマは多岐に亘ります。今後はフィールドワーク『岸和田の朝鮮人女工の足跡を辿る』や『強制労働跡地をめぐる～奈良県頓鶴峯～』なども予定しています。

同胞青年の民族学校として、みんなで学び、心を震わせながら、私たちが生きる道を共に展望していけるそんな場所にするべく楽しく準備し、「学習（がくしゅう）」しています！！





アンニョンハセヨ？
急な冷え込みにも負けず、気合とノリで頑張っている韓青愛知です。

11月3日韓統連40周年記念式典に参加してきました。先輩方の苦闘の闘いに敬意を表すとともに、これからの活動に必要な大きな活動力と固い結束を再認識したとても有意義な1日となりました。汗をかきながら練習した律動

もばっちりキマリ大成功でした。後の交流会では初めて会う青年もいて、新しく若い力が加わり、頼もしい限りです。これから本格的な冬到来ですが、風邪にも昨今の逆境にも負けず、懸命に活動していきます。



この間の韓青三重の活動を代表して、韓統連結成40周年祝賀会のアンサンブルに出演した参加者の感想をお伝えします。

「アンサンブルにはこれまでの闘いの歴史と、先輩方のまっすぐな祖国への想いが詰まっていた。私は練習が進むに連れ自分の役割の大きさに気づき、だんだんと不安でいっぱいになりました。それと同時に、今回の出演は、私が韓青を続けて行く為に与えられた試練だと感じ、これから逃げてはダメだとも思いました。

ある先輩が私に言って下さいました。「韓統連の未来を韓青の青年が語るから素晴らしい」と。

祖国への想いを、青年に託すということ。きっと、私たちのような「青年だからできる活動」があります。そして、この活動の意味や想いは、自分の胸に留めるのではなく、言葉を尽くして次の世代へ繋いでいかなければなりません。先輩方はそれを知っているから、伝えたいからこのアンサンブルを作られたのです。

そして本番…最後のセリフを言い切った瞬間、「よし！」という先輩の声が聞こえてきました。この間たくさん悩んだけど、自分が役に立てた気がして、その一言が何よりの褒め言葉で、嬉しかったです。私は確かに、先輩方の血と汗と想いのたくさん詰まったバトンを受け取りました。」(アンチェヒョン)



今日は東京本部のコアメンバー4人の性格を「勝手に」分析してみます。

キム委員長⇒政治からスポーツまで広ーく浅ーい知識を持つ。新規参加者が来た時には基本どんな内容の話題にも対応可。息子がかわいくてしょうがないが、あまりノロケるのは良くないと自制している(予想)。

キム組織部長⇒前に出るのが得意。つい目立っておいしいところ取りするタイプ。自分では「超冷静型」のつもりが周囲からは「超感情型」と言われる。納得いかない。

ユン文教部長⇒まったり。ゆったり。でも自分の意見はしっかり通す頑固者(いい意味)。ウリマル後の食事メニュー決定権を持つ。

ソン宣伝部長⇒東京本部が誇るデザイナー。韓青Tシャツを作るなら絶対に彼に任せたい。もう「単色&胸元に朝鮮半島マークTシャツ」を家のタンスに増やすのはイヤ。

こんな個性豊かなメンバーで日々ウリマルやチャンゴ、学習会等をやっています。



HANCHUNGで韓国語

地域	教室	所在地	交通アクセス
東京地域	千代田区神田佐久間町3-21-401	各電線 秋葉原駅 徒歩5分	
大阪地域	大阪市生野区桃谷3-13-8	近鉄 桃谷駅 徒歩10分 地下鉄 今里駅 徒歩10分	
神奈川地域	横浜市神奈川区青木町2-1-207	京浜東北線 磯子駅 徒歩10分	
福岡地域	福岡市東区西新1-3-8	近鉄 西新駅 徒歩10分 地下鉄 西新駅 徒歩10分	
愛知地域	名古屋市昭和区鶴舞3-8-10	各電線 鶴舞駅 徒歩10分	
兵庫地域	姫路市七松町3-3-13-1F	京 立花駅 徒歩7分	
三重地域	四日市市本町8-16 山下ビル	京 四日市駅 徒歩2分	
広島地域	広島市西区南木町1-7-21-203	京 横川駅 徒歩5分	
京都地域	京都市下京区西洞院通橋小路下る キャンパスプラザ京都内会議室	各電線 京都駅 徒歩5分	

所在地 交通アクセス

全国8都市9教室！

韓青韓国語教室の ▶▶▶ ☎ 0120-734-101
申込み・問合せは ▶▶▶ ✉ chuo@hanchung.org



Kマスター

進歩党に対する弾圧許せん！
維新独裁復活に断固反対！



ユージン兄さん

セミナー講師、難しい...



白衣のたまちゃん

律動はもちろん、サムノリでも
バッチリきめて、40周年記念祝賀
会を盛り上げていきたいと思いま
す。



ラップできそう No.1

キレッキレではない笑 普通に踊
れるレベルにはなったが



カワイイ男子代表

新しい仲間と会えるのをたのしみ
にしています★ いろんな人と交
流したいです



宣伝部長 S a.k.a. カメラ男子

泊まった大阪のハレモニの家の本
棚に20周年のときのっぽい本が
あった。今回の40周年のものも、
置いてきました。

「한마디」とは「一言」という意味です。韓青全国の盟員が普段活動をしなが
ら話している内容やつぶやきをざっばらんに紹介していきます。



世界に響け平和の歌 私たちにちがつなく統一の舞

재일동포
청년학생은
하나다!

『10・4宣言6周年記念 ハナフェスティバル2013』

9.29 ハナフェスから 11.3 祝賀会
までの二ヶ月間、韓青は『평화의
노래 통일 춤』を歌い、踊り
ながら進んできた。

9月29日、私たち韓青は、朝
青、留学同などの在日青年学生団
体と実行委員会を構成して、朝鮮
半島の平和と統一を求める文化公
演「10・4宣言6周年記念ハナ
フェスティバル2013」を東京
の繁華街である東京都台東区・御
徒町南口駅前広場（通称：おかち
まちパンダ広場）で開催しました。

当日は絶好の天気恵まれ、
600人以上の在日同胞青年の他に
地域の同胞や日本人の方々も多数
参加されました。

韓青は、司会、サムルノリ出演、
ノレ・アンサンブル出演、そして
会場を巻き込む律動など全面的に
主体性を発揮して全体の成功に寄
与しながら、在日同胞青年の統一
熱望を生き生きと表現しました。



ウリナラの「京의선 타고(京義線に乗って)」
にのせて、会場を「統一列車」となり駆けぬ
ける、韓青の仲間たち。

また特別企画として、南北の青
年学生団体から送られた心温まる
連帯ビデオメッセージが上映され
ました。まさに在日同胞だからこ
そ可能なことであり、南・北・海
外の3者連帯を再確認した企画で
した。

大トリには韓国の民衆歌謡グ
ループ「ウリナラ」によるミニコ
ンサートが行われ、会場の興奮は
最高潮に！在日同胞青年が一つに
なった「統一列車」が会場を駆け
抜けました。

フェスタ終了後はアメ横や上野
不忍池公園などでピースバレード
を行って平和と統一、アジアの和
解と協力をアピールし、その後は

一日10万人以上が利用するJR御徒町駅で
開催したハナフェスティバル。その影響力は
相当なものであるのは間違いない。



参加した各青年学生団体による大
交流会も行いました。

李明博前政権、現在の朴槿恵政
権が6.15共同宣言、10.4宣言を
支持・履行せずに南北関係が冷え
切ってしまっていますが、今回の
ハナフェスティバルは在日同胞青
年学生が一つになって日本から統
一熱風を巻き起こす大きな一歩に
なりました。

在日同胞青年学生が祖国の自主
的平和統一に向けてフェスティバ
ルと一緒に開催する。統一への思
いをともに形にすることができ

た、まさに10.4宣言、6.15共同
宣言の精神を实践した行事になり
ました。



韓青が取り組んできたP'sキャンペーン
の成果であるポスターは、ピースバレ
ードでその存在感を発揮した。

금지 사랑
승리의 확신을
가슴에 새기고

韓統連40周年記念行事を語る 運動の継承とは、 生き方を引き継ぐこと

文：李俊一・中央副委員長



今回の韓統連 40 周年記念祝賀会には、現地実行委員会の一員として、準備過程から携わらせていただきました。歴史的な行事だけあって、その重圧は相当のものでしたし、祝賀会が無事大成功に終わった時は、成功の喜びよりも安堵の思いが勝っていたのが正直なところでした。

私が韓青の門を叩いたのが 2001 年。6.15 共同宣言の翌年です。2 年後に本部常任委員になり、先輩に誘われるがままに 2004 年の故国訪問団に参加しました。「韓統連」を意識したのは、その場が初めてであり、祖国の地に足を踏み入れ、涙を流す韓統連の先輩方の姿を見て、なにも知らず参加した自分がとても気恥ずかしく、場違いな印象を持ったことをよく覚

えています。

あれから 9 年。40 周年は大阪の地で迎えることとなりました。9 年前には感じる事ができなかった歴史の重みを、今回は実感しました。

韓統連の歴史は、ファッショ軍事独裁政権との対決から始まった、闘争の歴史です。そしてそれは、民族のため、祖国のため、となりにいる在日同胞のために、その人生を捧げてきた人たちの歴史でもあります。今回、記録 DVD やアンサンブルを通じて、韓統連の歩みを振り返ることができました。過酷な情勢において、なぜ韓統連は 40 年もの間まっすぐに愛国運動を続けていくことができたのか。それは、闘争の力の源が祖国愛・同胞愛であったからだと思えます。今回参加された先輩方の姿に、そのような「闘争の年輪」を感じました。

今回、完訳版が出版されました「愛国論」の一節に、こんな文言がありました。「それ（愛国）は

数百年、数千年のあいだ、それぞれの国の民衆の中でめばえ培われた、自分の祖国に対する清らかな憧憬と美しい思慕と想念の意識化された表現である」。愛する者のために、愛する者が生きていく祖国のために闘うことこそが、人間の生き方の中で最も高く、美しいものであるということを、今回まさに感じる事ができました。そのような韓統連であるからこそ、このように厳しい情勢の中でも、立派な祝賀会を開催することができたのだと思います。今回の祝賀会では、在日同胞はもちろんのこと、たくさんの日本人の

方々もお越しいただき、あたたかい祝辞をいただきました。厳しい時代に関わらず、いえ、むしろ厳しい時代であるからこそ、正義と愛に生きる韓統連は、人々にとって希望の灯となるのだと、改めて実感しました。

私たちは、そのような先輩方の闘争を、いかに継承していくのか？ 今回の 40 周年は、そのようなテーマをわたしたち韓青に突きつけてきたものと感じています。運動の継承とは、生き方を引き継ぐことです。私たちの祖国では、いままさに維新独裁が復活し、民主主義が奪われようとしています。私たちは、韓統連運動の先鋒隊として愛国・愛族の精神を継承し、祖国の自主・民主・統一に向け、これからも力強く闘っていききたいと思えます。歴史的な 40 周年に携わらせていただき、カムサハムニダ。



誰が何をしようと私たちの 統一意志はとどめられない

『평화의 노래, 통일의 춤을』

韓国の代表的な民衆歌謡グループ우리나라の曲で、作詞・作曲は 백자。韓青とは縁が深く、2010 年の 50 周年行事でも歌われました。

奏し、最終的には素晴らしい律動を作り出すことができました。「ウリマルの後、みんなで必死に練習した成果が出てよかった」「一つの歌、一つの踊りを通じて全国が一つになった」「平和を歌い、統一の舞を舞う。韓青らしいというか、韓青だからできること」最高の発表をした青年の表情には、一点の曇りもありませんでした。

この期間を通じて全国で取り組んだ『평화의 노래, 통일의 춤을』は、韓青全国の新たなアンセムとして記憶されるでしょう。

潜入！
文化公演
舞台裏

逆境をはねのけて、見事 平和と統一を表現！

ハナフェスティバル 2013 での初披露から韓統連 40 周年記念祝賀会まで、全国の本部では文化公演『평화의 노래, 통일의 춤을(平和の歌、統一の舞)』の律動(ダンス)練習を徹底的におこないました。

ハナフェスティバル 2013 では「統一への思いが伝わる素朴さ」が評価されるにとどまった律動で

したが、40 周年祝賀会での文化公演では、「運動の先鋒隊として青年の躍動感と情熱の発露」が高く評価されるまでになりました。

そもそも今回の律動の振り付けはかなり難易度が高いもので、全員の動き、タイミングをあわせるのが相当に難しいものでした。さらに、全国の本部が合同で練習できる機会はほとんどなく、当日の

リハーサルまで全員であわせることができないという状況もありました。

しかし、韓青全国がひとつになって平和と統一に向かう想いを表現したいという情熱と、律動指導担当の兵庫県本部委員長が中心となって熱のこもったレクチャー、数度にわたる Youtube を通じた練習映像の共有も功を





砲火の中で生まれた朴正熙政権



四月革命から一年、南北学生会談提案によって民衆の統一熱気が噴き出していた1961年5月16日、「反共」を前面に押し出した「革命公約」を掲げて重武装の軍人がソウルの街を電撃的に占拠しました。いわゆる、「5.16クーデター」です。

クーデター的首謀者は、当時韓国軍少将だった朴正熙。朴正熙を中心とした軍部の新進将校集団は、軍部の粛清と情報部の設置によって、またたくまに反対派を一掃し、国家権力を掌握しました。四月革命の成果は軍靴によって踏みにじられ、民衆は再び厳しい独裁と弾圧の時代を迎えることとなりました。

進歩勢力に対する抹殺策動

クーデター後、朴正熙政権が真っ先におこなったことは、進歩・改革勢力への大弾圧でした。「容共分子の搜索」という名分の下、1961年末までに、実に3,000人以上の進歩人士が検挙され、統一運動を展開してきた政党や社会団体に対する弾圧を強行しました。

弾圧の先兵になったのは、朴正熙政権が大々的に拡充した中央情報部でした。中央情報部の要員は全国各地に配置され、広範囲な社会統制が敷かれました。自由な討論が封殺され、他人の目を気にするような不信の風潮が社会に蔓延していったのです。

また、経済援助の獲得を目的として、協議が難航していた韓日会談を強引に推進し、対日請求権を自ら放棄する屈辱的な韓日条約を締結しました。これらの横暴に対して、それまで恐怖政治の前に沈黙していた民衆が、ついに立ち上がりました。1964年には、政党と各種社会団体などが次々と反対運動を開始し、6月には1万名余の群衆がソウル中心部に結集、朴正熙の退陣を要求するに至りました。これに対して朴正熙政権は、米国の助言のもと非常戒厳令を宣布し、武力で民衆を制圧。軍隊を直接動員して民衆を弾圧するやり方は、この頃から常習化していきます。



独裁体制の強化

このような中、1967年に大統領選挙を迎えます。米国の強力な後ろ盾の下、不正選挙を通じて辛うじて勝利し、再び大統領となった朴正熙は、続く国会議員選挙において、ありとあらゆる不正選挙を駆使し、その結果、与党共和党が改憲に必要な総議席の3分の2を確保しました。これに乘じ、1969年に、民主政治の最後の防波堤であった「大統領3選禁止」を排除する動きを加速させます。9月4日、国会の第3別館に共和党の議員のみを結集させ、電撃的に3選改憲案を通過させました。これによって、長期執権が本格的に始まっていったのです。

한청 시점으로
현 정세를
해설합니다

韓青視点

私たち韓青は 11 月 25 日、韓統連・日本の方々とともに韓国大使館に抗議活動をおこなって来ました。進歩勢力への弾圧の中止などを要求した私たちの声を、大使館側は在日韓勢力と日本の警察を動員して排除しようとしていました。特に私たちの「不正選挙を究明せよ」の声に対し「韓統連は『従北勢力』だ」など

と言った的外れな対応は、「不正選挙があった」ことを暗に認めているものと感じざるを得ませんでした。私たちは、この行動を出発点に「朴槿恵政権糾弾 3ヶ月集中運動」を展開し、朴槿恵政権の維新復活への企みと民主主義破壊の実態を徹底的に暴露・糾弾し、不正な大統領選挙の真相究明を求めています。

維新独裁を復活させた 朴槿恵政権を糾弾する！

朴政権は進歩勢力への大弾圧をやめろ！
大統領選挙の不正を究明しろ！



李承晩独裁以来の暴挙

11 月 5 日、ついに朴槿恵政権は統合進歩党（進歩党）に対する解散審判請求案を憲法裁判所に提出しました。これによって、進歩党の解散は、憲法裁判所の判断（裁判官 9 人中 6 人以上の賛成）に委ねられることになりました（180 日以内）。すぐさま進歩党は「憲政じゅうりん・緊急措置復活！維新独裁反対・民主守護—統合進歩党闘争本部」を設け、連日の全面糾弾闘争に突入しました。また、多くの市民社会団体も緊急記者会見を開いて、政党解散請求の全面的な取り消しと憲法裁判所の裁判手続きの即時中止を要求しています。また、ノーム・チョムスキー教授やラムゼー・クラーク元米国防務部長官といった著名人士 117 名が「朴槿恵政府の統合進歩党弾圧に対する国際人士宣言文」を発表するなど、海外からも批判の声が挙がっています。

「進歩党の綱領の内容が北朝鮮式の社会主義を目指している」「北朝鮮の指令に従って活動している」と法務部は説明していますが、綱領にはそのような記述はないし、活動に対するいっさいの証拠も提示されていません。結局これは、政治報復のために作り上げられた「事件」と言えます。事実、前号で紹介した「李石基事件」の裁判では、検察が提出した発言録が事実と曲したものであったと国家情報院の職員が認めています。

朴槿恵政権のねらいは、次々と明るみにでる大統領選挙の「非合法性」とその真相を求める厳しい国民の目をそらすことに加え、政権批判勢力、特に主導的役割を担う進歩勢力を根絶やしにすることで、保守勢力の永久執権を画策していると言えます。

軍の関与も明らかになった 大統領選挙への不正介入

国会の国政監査では、国防部内のサイバー司令部が巨額の予算を国家情報院から支給されていることが明らかになり、「軍も国家情報院の指揮を受けて不正介入したのではないか」という疑惑が提起されています。そして、この疑惑が浮上した直後にサイバー司令部要員が過去に載せたインターネット上のコメントが一斉に大量削除され、より一層この疑惑を深める結果となりました。

また、2007 年の南北国防長官会談を前に、国防부는盧武鉉大統領（当時）と「北方限界線（NLL）を遵守すること」などを交渉原則として承認していたことを、今になって公表しました。これは「盧武鉉大統領が NLL を放棄した」といった「デマ」による与党や国情院の世論誘導の悪企みに対し、国防부는沈黙をすることでその争点化に協調したことになります。

このように真相への核心へ一歩ずつ迫っていく中、特別捜査チームの尹チーム長に職務排除命令が下されました（10 月 18 日）。尹チーム長は、後に国政監査の場で「上司が激怒しながら『野党を助けるつもりか』と話した」「国情院職員を調査している途中で『職員をはやく釈放させろ』『押収物を返せ』という指示が降って来た」と明らかに政治圧力があつたことを証言しています。

徹底した思想統制の世の中に

10 月 24 日、朴槿恵政権は全国教職員労働組合（全教組）の労組登録を抹消しました。これによって全教組は、団体交渉や財政支援など、労働組合としてのあらゆる正当な

権利が奪われることになります。

全教組は韓国の民主化闘争の歴史の過程で誕生し、その闘争の成果と理念の下に次世代への正しい教育を行なっています。全教組の否定は、民主化闘争の過去を否定するばかりか未来の民主主義を放棄することと言っても過言ではありません。

その一方で、「ニューライト教科書」の検定通過、地域の校長や教頭を対象にした「オピニオンリーダー研修」、国情院が制作したと推定される「DVD セット」の将兵教育への利用など、思想統制を強化しています。その内容は、70 年代の反維新独裁闘争や現在の平和運動を「従北勢力」と規定しながら罵倒する一方で、歴代独裁政権を美化するといったものです。

また、朴槿恵支持大会を開いた「ニューライト安邦連合」などの多くの保守系団体に財政支援していることも判明しました。

歴代独裁は、言論の統制などによる徹底した反共（反北）教育、開発独裁の下での労働運動の御用団体化、批判勢力に対する公安弾圧などによって維持されてきました。そしてそれは、長年の血のにじむ闘争によって否定されるようになりました。しかし今、朴槿恵政権は民主化運動の成果自体も否定しながら、「奪われた陣地」を取り戻そうとしています。もはや朴槿恵政権は維新独裁を復活させたと断定せざるを得ません。そしてそれは、国や民族の未来にとって「打倒対象」であることを意味するのです。

朴槿恵「維新復活」政権の無慈悲な弾圧は、かつての維新独裁がそうであったように政権の弱さと危機の裏返しであるとも言えます。この政権は必ずや民衆によって審判されるでしょう。

歌い継ぐ闘争の歴史

ああ京義線 統一の線路を走る

『정의선 타고』

キョンウィソン タゴ

軽快な前奏が流れ、汽笛が響く。待ってましたとばかりに若者が前に飛び出し、笑顔で踊りだす。

まさに南北をつなぐ京義線のように 6.15 時代を代表する曲がこの『정의선 타고(京義線に乗って)』です。6.15 共同宣言記念行事のテーマ曲として使用されたこともあり、南北海外の同胞が集う中で必ずといっていいほど歌われる、ノレペ・ウリナラの代表曲です。

2005 年の 8.15 統一大会の時には、ソウルの街中でガンガン流されていたのも印象的で、韓青でもほとんどの幹部が律動(ダンス)までできる人気曲となっています。

京義線はソウルから新義州と南北をつなぐ線路ですが、現在は南北をつなぐ運行は行われていません。南北をひとつにつないで『정의선 타고』を実現するのは、私たちの夢であり、課題でしょう。



<日本語訳詞>

行こう一緒に京義線に乗って
平壤を越えて新義州の広野まで
おいで一緒に京義線に乗って
会いたい私たち兄弟 全世界の人々
行きかう京義線 愛あふれ 行きかう京義線 平和があふれ
半世紀分断の壁を越え 統一の明日を開こう
ソウルで会おう 京義線に乗って 平壤で会おう 京義線に乗り
ああ京義線 統一の線路を走る 私たちともに会おう



editor's letter

今年も早いもので 12 月、師も走る年末です。特集でもお伝えしたように、短かった秋はハナフェスティバル、40 周年記念行事、各本部でのウリマル教室開講式などで、あっという間に過ぎていきました。現在も進歩勢力を弾圧し、維新独裁を復活させようとする朴槿恵政権に対する闘いが激化する中、私たち韓青も全国各地域に入って糾弾の宣伝活動に走り回る日々です。日本でも NSC が創設、特定秘密保護法案が強行採決され、解釈改憲によって「戦争のできる国」へひた走っています。どの方向に向かって走るかが何よりも問われる時代ですね。

ご意見ご感想、投稿などお待ちしております。

chuo@hanchung.org



私の本棚 寄稿：「読書と内側の自分」—ベク・カンフィ

私は日常、会社の営業・渉外職として企業や団体を訪問し、いろいろな方とお話をさせていただく機会が多い。アポイントメントをとり、相手とお会いして、お話をさせていただく。その際には、やはり失礼の無いように、いわゆる「営業マニュアル本」などに書かれているような、チェック項目を確認してみたりして、身だしなみに気をつけたりする。私の場合、そのほとんどは、洗面所の鏡の前で行うことが多い。髪型や服装の乱れなどが無いか、顔や髪に余計なものが付いていないか、そんなことを鏡に映った自分を見ながら確認している。時間の無い時などは、自動車のガラスに映った自分や、建造物のガラスなどに映った自分の姿を見て、同じようなことをしている。このように、自らの容姿・外見は、鏡やガラス、水面などの反射物を通じて見ることは、経験的に良く知っている。では、容姿・外見での自分ではなく、内面としての自分を見るにはどのような方法があるのだろうか。

三重県本部の委員長をしていた頃は、ウリマルの授業後に話をしたり、常任委員会で会議を行ったり、ご飯を食べながら談笑したり、先輩方のお話を拝聴したり、と様々な機会の中で、目の前に人間を置いて話をしていく(またはお話を聞く)という機会がそれこそ毎日のようにあった。そんな中で、目の前にいる人間の話を聞いては、また、自分の意見や想いを話しては、自分の考えが整理されていくような感覚を常々感じていた。自分は何を考えているのか、自分は今何をしようとしているのか、自分には何が必要なのか、色々な人達と話をしていく中で、まさに内面としての自分を見ていくことができているように思う。つまり、自分以外の「他」からの意見や言葉に対して、自分がどう考えるのか、どのような意見になるのか、どんな言葉を話すのか、こういった作業こそが、自分の内面を見る「鏡」となるのだ、と言えるのではないだろうか。

通信技術・通信機器の発達によって、私たちは地球の裏側の人間とも、瞬時に交信をすることが出来るようになった。どんなに離れていても(それが距離でも、関係性でも)、通信の利用が可能な人間どうしであれば、言葉・文章のみならず、写真や動画をも交換することができる、非常に便利な社会になった。流行りのソーシャルネットワークを利用すれば、友人の友人が知人・友人となる可能性は、一昔前と比べると飛躍的に高まったと言っても良いだろう。そのネットワークの世界で主流となるコミュニケーションは文章だ。ボソッとつぶやくような文章もあれば、写真とともに感情を表現した文章、時間をかけて思い溜め込んだものを表現した文章など様々だ。少し話を戻すと、他の意見と自らの意見を擦り合わせることで、自分の内面を輪郭づけることが出来るのでは、ということだったが、こういった「文章」に対して様々考えていくこともまた、同じようなことが言えるのではないだろうか。文章を読む、このことを通じて書いた人間の内面だけでなく、自分自身の内面をも見ることは出来るのではないだろうか。

こういった考えから、私自身は、「読書」というものを強く薦めたい。様々な活動の中で、必要に迫られ、情報や知識を収集する手段として読書することが多い。私自身もそうだったし、今もそうだ。しかし、読書というとき、それは「私以外の誰かが、時間を費やし、熟考し、取捨選択し、選び抜かれた言葉で自らの想いを表現し尽くした文章を読む」ことであり、その想いに対して自分自身の想いを熟考できるという点で、自分の内面を映し出すための素晴らしい道具であると言える。また読書の場合、いわゆる時空を超えて書いた人間と対話ができるという、素敵な特典まで含んでいるのだ。現在、生きておられるが遠く離れた人にも、また既に亡くなられてしまった方にも、書籍を通じて、その文章を通じて出会うことができるのがこの「読書」の素晴らしい利点だと言えるだろう。時間と場所を選ばず、また、そっとカバンにしまっておける話し相手。そんな素晴らしい存在そして道具である「読書」をぜひとも皆さんに薦めたい。私自身も、年末年始の長期休暇には、様々な人間と「読書」を通じて出会いたいと思う。

